

平成27年度学校評価の第三者評価

秋田県立雄物川高等学校

評価者 本地区外現中学校長1名
本地区外元高等学校長1名
秋田大学准教授1名
以上3名

(I) 学校評価No. 1の各項目についてのアンケートの結果を、次の規準によって行った評価

- 1 比較的高い評価である。
- 2 妥当な評価である。
- 3 比較的低い評価である。

学校評価No. 1について(評価の平均)

保護者アンケート	評価	地域アンケート	評価
問1	1.7	問1	1.7
問2	2.0	問2	2.3
問3	1.7	問3	1.7
問4	1.7	問4	2.0
問5	2.0	問5	1.7
問6	1.7		
問7	1.7		
問8	1.7		
問9	2.3		
問10	1.7		

(II) 学校評価No. 2(自己評価・学校関係者評価)について、その結果が妥当であるかどうか
次の規準によって行った評価

- 1 比較的高い評価である。
- 2 妥当な評価である。
- 3 比較的低い評価である。

学校評価No. 2について(評価の平均)

学年	評価	分 掌	評価
I① 1年部	1.7	II① 総務部	2.3
I② 2年部	2.3	II② 教務部	2.0
I③ 3年部	1.7	II③ 生徒指導部	1.7
		II④ 進路指導部	1.7
		II⑤ 特別活動部	1.7
		II⑥ 保健部	1.7
		II⑦ 図書視聴覚教育情報部	2.0
		II⑧ 研修部	1.7
		II⑨ 事務部	2.0

(Ⅲ) 保護者アンケート・地域アンケートの結果から、今後の学校運営の改善につなげるための課題や改善の方向性についての提示等

〈保護者アンケート〉

○問2 進路目標の達成と自己実現については、3年生の保護者が高い評価をしているのは大変良い事だと思う。今後も「全職員による面接」等、学校全体で生徒を指導する事は好ましい。

○問4「地域連携の強化」は、男子バレーを始め、吹奏楽部、陸上部の頑張りが雄物川高校の活躍を牽引している。時々パスカルタイムが話題になったり、広報紙に生徒が載るのも良い。

○問6「入学したことについて」、問10「良い学校と思うか」の間に対して、どちらも「そう思う」、「ほぼそう思う」が95%で質問の中で最も高い評価である。これも3年生が高いのはうれしいことである。いろいろな項目があるが、この2つの項目が高いのが一番である。

○問9 子どもの進路達成は学校と保護者の協働によるものとする。進路達成に向けた学校の取組に鑑み、保護者の評価が若干低く、保護者の更なる理解と主体的な取組が求められると思う。

〈地域アンケート〉

○日々の地道な取組により、学校が地域の信頼を得ていることが理解できる。

○問2「本校生徒の挨拶」の民間企業の結果に若干改善の余地があると思う。

○アンケートの回収率が全体で91.7%(55/60名)であるが、問1の回答数が民間28名、小中33名計61名と数に開きがある。複数回答があったのだろうか。

○全体的に大変好意的な結果だと思います。問2の民間で不快感を感じる人が1名おりますが、少し気になる。

○学校運営は、よく改善が進められているという印象がある。

○湯沢～大曲間のバス路線が廃止になって久しいが、近隣の中学校区からの物理的通学手段の確保が、志願者の増加につながるのではないかと考えている。

(Ⅳ) 各学年・分掌について、今後の学校運営の改善につなげるための課題や改善の方向性についての提示

○どの学年でも、生徒を誉めて伸ばすことは大切である。

○2年生の中だるみ現象が見られるのでしょうか。

○3年生の校内・外とも活躍する場面が多くあり、また、進路目標の達成に向けて頑張れる学年です。

○総務部 地域やPTAを巻き込んだ「登校時一声運動」はすばらしいと思う。

○総務部 「登校時一声運動」の参加者は目標の100人に達しなかったが、前年比1.6倍であり、十分な成果といえないでしょうか。目標設定が高かったとも考えられます。なお、のべの人数も大事ですが、実人数の参加率を向上させ、より多くの方に学校を見ていただく機会の拡大を図りたいと思う。

○教務部 入学者選抜は昨年まで堅調であったが、今年度は30名程定員割れを起こしてしまった。どこも受検生が減っており、大変であるが、検証する必要がある。

○生徒指導部 停学等の特別指導がなくて良かった。

○進路指導部 総合的な学習の時間が設定されて以来、雄物川高校は「パスカルタイム」と命名し、指導を行ってきた。ネーミングも良いし、指導内容も年々充実してきているようである。

○特別活動部 中学生との合同練習は新たな視点である。

○保健部 「保健指導」は「生き方指導」でもあるので、パスカルタイムの活用もよいと思う。

○図書視聴覚教育情報部 図書室にまんがを置くのはどんなものでしょう。図書室利用の一方法と思うが。

○研修部 授業研修会のための研修であってはいけない。その後の授業に生かせる研修であって欲しい。

○事務部 就学支援金制度の枠が広がるとよいと思う。

○事務部 この地域の小学校に勤務させていただいたことで、貴校の周辺もよく巡視させて頂いたが、とてもよく、環境整備されており、事務職員の校舎内外の管理意識も高いと思う。その意味で、もっと事務部の評価は高いものでよいと思う。

(Ⅴ) アンケート結果によらない、本校の学校運営についての意見等

○キャリア教育の充実が進路指導のみならず、生徒指導や特別支援教育の充実等、様々な面で効果を上げている。

○高等学校における支援教育の一つのモデルとして、今後も勉強させて頂きたいと思う。

○男子バレーボール部の頑張りが、雄物川高校の良いイメージとして地域にひろがっている。この後の活躍も期待したい。

○今春の入学者選抜で、定員を大幅に割った事は、学校運営上も大変痛いのでは？来年に向けて検討し、対策を講ずる必要があると思う。管理職だけでなく、先生方一人一人にも考えてもらう必要があると思う。